

---

# 北見中年の事件簿

早川 眞治

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

北見中年の事件簿

### 【Nコード】

N7919B

### 【作者名】

早川 眞治

### 【あらすじ】

一人のダンディな探偵がいた。ダンディな探偵とは断定出来ない。  
(内容とは、あまり関係ありません)

## （前書き）

この物語は、フィクションです。登場人物やらなんやらは、架空の物です。

## 登場人物

北見 行雄（主人公ポ）

北見 幸美（行雄の嫁ポ）

北見 美雪（二人の子供ポ）

石原 龍太（警察の人ポ）

岸群 由佳（警察の人ポ）

御所車 賢（凄そうな人ポ）

村人 A・B・C・D・E・F（近所の人ポ）

以上の人達が出てくるポ（＊、）

行雄（俺は、きたみ ゆきお…32歳…ブレンダーが似合うダン  
デーなオジサマだ…）

幸美「アナタ…じゃまよ？」幸美が熱心に掃除機をかけている。

行雄「あっ…すいません…」行雄が部屋から出ていく。

行雄（つたく…人のことバカにしゃがって…）

美雪「お父さん！」行雄「ん…？どうしたんだ？俺の愛しい美雪ち  
ゃん」行雄が両手を上げて抱きつこうとする。

美雪「やめてよ」

グサッ…  
行雄

美雪「そんな事より警察の人から電話だよ」行雄「（そんな事って  
…）ああ…分かった…ありがとう」行雄は、急いで電話に向かった。

行雄「はい…もしもし」

由佳「もしもし！？行雄さん！？」

行雄「もうちょっと声を小さくしてくれ…」行雄は、ビックリして

受話器を10センチほど離してしまった。

由佳「あっ…すみません」ボリウムを下げて謝る。

行雄「それより今日は、なんだ？」

由佳「そうです！！大変なんですよ！！」また、ボリウムが上がった。

行雄「うつさい！！」由佳「あっ…ごめん×2」行雄「（何故タメ語に…）なにが大変なんだ？」

由佳「とにかく大変だから来てください！！」ガチャツ

行雄「（自分勝手な…まあ、行くか…）仕事に行ってくる！！」

行雄「ふむ…こちら辺のハズだが…警察どころか人一人いないな…」

A「いやあ本当ですねえ」B「まったくねえ」村人A・Bが現れた

！！

1・戦う

2・逃げる

3・話す

行雄「（なぜ戦ったり逃げなきゃいかなのだ！？）あのすみません」

A「はい？」行雄「村人Cさんのお宅には、どう行けばいいのでし

ようか？」B「この道を真っ直ぐ行って大きなお家がそうです」行

雄「ありがとうございます」A・B「いえいえ（やっと出番終わっ

た…家帰ろ）」行雄（随分棒読みのセリフだったな…）行雄は、疑

問に思いつつも、Cの家へ向かった。

行雄「ここ…か」ピンポン 由佳「ああ…行雄さん！！」ドアか

ら顔を出したのは、電話をしてきた由佳だ。行雄「今回の事件は？」

由佳「まあ、入ってください…」そう云って由佳は、奥へ向かう。

行雄「（お前の家じゃないだろ…）おじゃまします」

そして、行雄は、由佳に連れられ事件現場に向かった。

行雄が事件が起きた部屋に入ると…巨大なケーキと複数人の男女が

立っていた。石原「岸群君そちらの方は？」

由佳「北見さんです」

石原「ほう…あなたが有名な探偵ですか…」

行雄「あなたは？」石原「おっと…私は、石原…岸群の上司です」  
行雄「今回の事件は…？」

由佳「ケーキが…」行雄「ケーキに毒が入ってたのか！？なんてコトを…」

由佳「いえ…ケーキに乗っていたイチゴが…停電の時にすべてなくなってしまったのです…」

行雄「…帰る」

由佳「待つてくださいいっ」由佳が急いで止める。

石原「この事件は、あなたしか解決できません！！日本一の探偵北見さん！！」

行雄「日本…？？」由佳「日本…いや…世界で探しても北見さんほどの探偵さんは、いません」

行雄「世界…わかりました！！この世界一の探偵…北見 行雄が解決しよう！！」

みんな（乗せられやすい人だな…）

行雄は、みんなに事情聴取をした。

行雄「犯人がわかりました…」

石原「誰ですか？」行雄「犯人は…」

由佳「犯人は…？」行雄「犯人は、お前だっ！！」

行雄は、そう云って村人Dを指さした。

E「まさか、あなたが犯人だったなんて…」

D「ちよっ…ちよっと待つてください！！俺が犯人って」

行雄「あのときケーキのイチゴを食べることが出来たのは、あなただけなんです…」

由佳「…」

F「あっ…！！」

石原「どうした？村人F！！」

F「犬がイチゴを食べてます…」

行雄「なにっ！？」

みんな「北見さん…？」

行雄「ふっ…まあ、アレだ…さらばっ!!」そう云って行雄は、風のように去っていった。

由佳「待ちなさい!!」

行雄「その願いは聞けん!!」

こうして事件は、解決された…。

行雄「失敗くらいあるさ!!」由佳「開き直らないで下さい!!」

以上ナレーションは、御所車 賢でお送りしました。

（後書き）

お疲れさまでした（・、・、・）HPに載せた物をそのまま引用して  
みました…が温いですねえ。では また会いましょう（・、・、・）  
ノシ



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7919b/>

---

北見中年の事件簿

2011年1月28日14時46分発行